

医学部保健学科分子病理学教室

支援内容研究概要

C4. 4A はラット転移性腫瘍から単離された GPI アンカー型膜タンパクである。大腸癌や膵癌の尿からそのペプチド断片が検出され、ヒトの癌での役割が注目された。ポリクローナル抗体を作成し、大腸癌 Stage II、III の原発巣を染色すると 25% で癌先進部の細胞膜に発現し、リンパ節転移とは独立した再発予測マーカーとなった。そこで、臨床応用を見据えてモノクローナル抗体の作成に着手した。